

Windows 11 初期設定チェックリスト

2026年9月26日版 | 動画の時刻付き自動字幕とMicrosoft等の現行資料を照合

この文書の使い方	上から順に確認し、必要な設定だけ変更します。動画の設定を一括で適用する文書ではありません。
対象	自分で所有・管理するWindows 11 PC。初期設定、買い替え、再セットアップ後。
中止して相談	焦げた臭い、バッテリー膨張、HDDの異音、回復キーが必要なのに見つからない、会社PCで権限がない場合。

□ は未確認、✓ は確認済みです。会社・学校のPCでは、組織の管理者の指示を優先してください。

最初に確認する項目

1 作業前の準備

スタート → 設定 → システム → バージョン情報

- Windows 11であること、PC名、エディションを確認した
- 重要な写真・書類を外付けSSDまたはクラウドにも保存した
- 会社・学校のPCでは管理者へ確認した

2 BitLocker・デバイス暗号化

スタート → 設定 → プライバシーとセキュリティ → デバイスの暗号化

- 暗号化がオンかオフかを確認した
- オンの場合、Microsoftアカウント等から48桁の回復キーを確認した
- 回復キーをPC本体とは別の安全な場所へ保存した

判断：動画は個人PCでオフにする案を示しますが、一律に切りません。紛失・盗難時の保護を考え、まず回復キーを確保します。

3 Windows Update

スタート → 設定 → Windows Update → 更新プログラムのチェック

- 更新をインストールした
- 保存してから再起動した
- 再起動後、もう一度更新を確認した

4 Windows セキュリティ

設定 → プライバシーとセキュリティ → Windows セキュリティ → デバイス セキュリティ

- 警告が表示されていないか確認した
- コア分離の詳細でメモリ整合性を確認した
- 互換性のないドライバーが出た場合、無理に削除せずメーカー更新を確認した

使いやすさを整える項目

5 スタートアップ アプリ

設定 → アプリ → スタートアップ

- 使用しないアプリだけオフにした
- セキュリティ・バックアップ・会社指定アプリは残した
- 分からないアプリは変更前に役割を確認した

6 通知

設定 → システム → 通知

- アプリごとに必要・不要を判断した
- 予定・セキュリティ・バックアップの通知を残した
- 追加の設定を開き、おすすめ表示等を読んで不要な項目だけ外した

7 プライバシー

設定 → プライバシーとセキュリティ → 診断とフィードバック / 推奨事項とオファー (または「全般」)

- オプションの診断データを送るか決めた
- 広告識別子やおすすめの個人設定を読んで決めた
- オフにしても必要な診断データや広告自体はなくならないと理解した

8 ウィジェットを非表示

設定 → 個人用設定 → タスクバー → ウィジェット → オフ

- まず非表示で目的を満たせるか確認した
- 完全削除が必要でない限りPowerShellは使わない

9 曜日表示 (任意)

コントロール パネル → 時計と地域 → 地域 → 追加の設定 → 日付 → 短い形式の末尾に「ddd」→ 適用

- 変更前の短い形式をメモした
- 例「yyyy/MM/dd ddd」で曜日が表示された
- 見切れる場合は元に戻した

症状や好みがある時だけ変える項目

10 高速スタートアップ (終了後だけ不調な時)

コントロール パネル → ハードウェアとサウンド → 電源オプション → 電源ボタンの動作を選択する → 現在利用可能ではない設定を変更します → 高速スタートアップを有効にする のチェックを外す → 変更の保存

- 変更前の状態を記録した
- シャットダウン後の症状が改善するか確認した
- 起動が遅くなる場合や改善しない場合は元に戻した

判断：高速スタートアップは再起動には適用されません。項目が表示されないPCもあります。

11 USBの自動再生 (任意)

設定 → Bluetoothとデバイス → 自動再生 → リムーバブル ドライブ

- 自分のUSBだけなら「フォルダーを開いてファイルを表示」を検討した
- 共有PCや知らないUSBを扱う場合は「毎回動作を確認する」を検討した

12 右クリックの旧メニュー (任意)

対象を右クリック → その他のオプションを表示

- 標準の「その他のオプションを表示」で目的を満たせるか確認した
- 初心者向け初期設定としてレジストリは変更していない

13 視覚効果 (動作や見やすさで選ぶ)

設定 → アクセシビリティ → 視覚効果

- 必要ならアニメーション効果をオフにした
- 必要なら透明効果をオフにした
- 見づらくなった場合は元に戻した

PowerShellでウィジェットを削除する場合

非表示では目的を満たせず、自分のPCで、Windows Update・バックアップ・復元ポイント・Microsoft Storeから戻せることを確認した場合だけ実施します。管理者として実行せず、現在の利用者が対象を確認します。

```
Get-AppxPackage -Name MicrosoftWindows.Client.WebExperience | Select-Object Name, PackageFullName, NonRemovable
```

名前が完全一致し、NonRemovable が False のパッケージが1つ出ることを確認。条件が違えば中止。

```
Get-AppxPackage -Name MicrosoftWindows.Client.WebExperience | Remove-AppxPackage
```

確認条件が合う場合だけ削除。元に戻すにはMicrosoft StoreのWindows Web Experience Packを再導入。

確認した資料

- ・ 動画「Windows11絶対やるべき設定11選」 (youtube.com)
- ・ Microsoft : デバイス暗号化 (support.microsoft.com)
- ・ Microsoft : 通知設定 (support.microsoft.com)
- ・ Microsoft : 高速スタートアップ (learn.microsoft.com)

動画の自動字幕には誤変換があります。本書の画面名・キー名・コマンドは、概要欄および公式資料で補正しました。